

科目名		授業形態	担当教員名	
放射線安全管理学Ⅰ		講義	野沢井 隆	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
放射線安全管理学は社会の一般認識として危険なものの一つとして挙げられる放射線や放射性物質を安全に取り扱うための学問である。 放射線診療に従事する際に不可欠となる放射線の安全管理についてその理念と方策を知り，具体的手法としての各種放射線防護技術について理解することを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 放射線防護に用いる諸量の単位・概念を説明できる。 2. 国際的に標準化された放射線防護体系を説明できる。 3. 外部被ばく・内部被ばくの防護方策を説明できる。 4. 線源管理の方法を説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	放射線防護体系			
2	放射線防護に関する線量			
3	放射線被ばくの種類と防護			
4	被ばく線量と障害			
5	被ばくの区分			
6	個人の管理			
7	外部被ばく測定			
8	内部被ばく測定			
9	施設・環境測定			
10	放射線の遮へい			
11	医療機器の安全取扱			
12	線源管理と表面汚染管理			
13	放射性廃棄物			
14	放射線事故			
15	まとめと解説			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	80%			
レポート・課題				
小テスト	20%	授業の進行状況に応じて2回実施し、その平均点により評価する		
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
診療放射線技師 スリム・ベーシック 放射線安全管理学		福士政広	メジカルビュー社	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
放射線技術学シリーズ 放射線安全管理学 改定3版		磯部智範 他	オーム社	
自由記載				
備考				